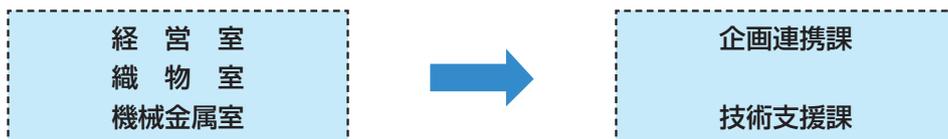


# 京都府織物・機械金属振興センターです

京都府織物・機械金属振興センターは、丹後織物業と北部機械金属業等の発展・振興を図るために設置された京都府の機関です。今年度は、同センターからの記事も掲載していきます。

京都府織物・機械金属振興センターは、明治38年9月に京都府織物試験場として設置決定されてから、研究指導機関として丹後の織物業とともに歩み、昭和47年には京都府織物指導所に名称変更、さらに、平成12年からは、織物業に加えて丹後の基幹産業に成長してきた機械金属業等の支援を行うこととなり、現在の名称となっています。

なお、平成20年4月1日から組織の簡素化・効率化を図るために、3室制から2課制となりました。



住所 京丹後市峰山町丹波139-1 電話 0772-62-7400

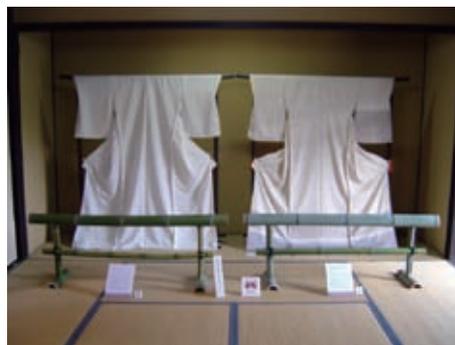
URL <http://www.silk.pref.kyoto.jp/>

## 「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備が進んでいます

北部地域のものづくり産業の一層の成長と次世代の産業振興を図るため、「北部産業活性化拠点・京丹後」の整備が京丹後市内で進められています。このほどその一部が完成し、地元企業のための基礎技術研修をはじめ、地元企業の拠点進出による新分野事業が先行してスタートするとともに、この秋には当センターの移設などにより拠点事業が本格的に展開されます。

## 当センターの事業の一部をご紹介します

丹後織物ルネッサンス事業では、新たな丹後ちりめんの開発や地域に密着した高度な技術を活用した新しい素材・商品の開発等を総合的に進めるため、丹後織物の特色である撚糸技術を活用した交織白生地商品等の開発や、機業グループとデザイナー・流通業者とのコラボレーションによる企画から商品開発までを行う人材育成のための事業等を実施しています。平成19年度は、「新商品開発・販路開拓事業」を計画して参加企業を募り、和装・洋装の各2グループに別れて商品開発や販路開拓に向けた取組を行い、その成果を府内外の展示会で発表しました。



和装グループの展示会：京都市（左）と京丹後市（右）内で開催

また、北部地域の機械金属関連の技術に携わられる方々を対象に技術の高度化を図るため、各種セミナー・研究会等を開催しています。その一環で、高度完成部品製造に関わる「ものづくり」技術の向上を図るため、3次元CAD/CAM/CAEシステムを使った機械構想から加工まで一貫した試作開発ができる設計技術者の育成を目的に、全9回の連続講座「北部ものづくり塾」を開催しました。

長期に渡る連続講座でありましたが、3次元CAD/CAM/CAEシステムを使った設計の効率化について体験してもらい、受講された方からは、「3次元CADを使うのは初めてで操作に慣れない部分はあったが、基本を覚えれば2次元CADと同じように使える」などの感想をいただきました。



▲3次元CADによる設計演習



▲ひずみゲージ法による実験

【お問い合わせ先】

京都府織物・機械金属振興センター  
企画連携課

TEL:0772-62-7401 FAX:0772-62-5240

E-mail:info@silk.pref.kyoto.jp